

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

〔評価基準〕  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉市教育の創造	第2期倉吉市教育振興基本計画の進捗よく管理(5年計画の1年目)	・基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 ・教育に関する事務の点検・評価の推進	教育総務	基本計画に基づく重点施策実施計画の策定及び定例教育委員会へ実施計画提案		前年度の倉吉市教育行政の点検及び評価を議会へ提出。			進捗状況チェック、中間評価	定例教育委員会へ中間評価の報告					・実施状況チェック、各課の自己評価・審議会等による評価の実施	B			
	倉吉市教育委員会の活性化	・倉吉市教育の方針の明示 ・住民の意向や教育現場の実情の把握 ・総合教育会議の充実 ・教育委員の活動の顕在化	教育総務	・計画訪問・諸行事等への参加 ・市ホームページによる情報発信(リレコラム等) 総合教育会議の開催(5/25) 中部地区教育委員研修会(5/26)	リレコラム更新(第1回)	学校計画訪問(6/30西郷小)	リレコラム更新(第2回)	市町村教育委員研修会(県主催)(8/9)	学校計画訪問(9/28西中)	学校計画訪問(10/6河北小、10/18社小、10/31上小鴨小)	学校計画訪問(11/6鴨川中、11/10久米中、11/14成徳小、11/24高城小)	リレコラム更新(第5回)	リレコラム更新(第6回)	リレコラム更新(第7回)	総合教育会議の開催(1/29)	B			
	「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	・適正配置の課題の整理と各地域・関係団体との協議の実施	学校教育	市民シンポジウム開催 適正配置全体説明会(4/22) 対象小学校区適正配置(協議会立上げ)についての説明 小鴨地区説明会(5/24) 明倫地区説明会(5/29) 成徳地区説明会(5/31)	北谷地区説明会(6/27) 上小鴨地区説明会(6/29)	適正配置に関する各地区協議会委員選考 灘手地区説明会(7/4) 社地区説明会(7/6) 高城地区説明会(7/12)	協議会委員推薦依頼	適正配置に関する各地区協議会立上げ	集合学習の実施 小鴨・上小鴨(10/26)	小鴨・上小鴨(11/7, 11/21, 11/27, 11/28)	灘手・成徳(12/4)	灘手・成徳(1/29) 灘手・成徳・明倫(1月下旬)	小鴨・上小鴨(2月) 社・北谷・高城(2月)	社・北谷・高城(3月)	・協議会の全体会を実施し、各地区の課題について擦り合わせるための協議を始めた。委員の推薦に時間を要している地区については、引き続き協議会設置の趣旨を説明し、依頼しているところである。	評価できず	B	各施策について、概ね当初の計画とおり実施することができた。 各地区協議会の立ち上げに向けた説明会を開催し、その内容等をまとめたものを市内全戸配布した。協議会委員の推薦に時間を要し、立ち上げが遅れているところもあるが、児童数減少の現状を踏まえ、今後も当該地区に丁寧に説明をしながら、協議を進めていきたい。 学校教育施設・教育施設の耐震工事や災害復旧等については、工期延長など若干のずれは生じたが、年度内にはすべて完了することができた。	
	学校教育施設・教育施設の整備運営	・地震災害復旧工事 ・学校施設耐震化促進(成徳小(外構2工区)) ・小・中学校校舎トイレ改修工事 ・河北小学校教室間仕切壁改修工事 ・中学校防犯カメラ設置 ・PC教室等教育用LANシステム等整備	教育総務	〔地震災害復旧工事〕 〔耐震補強工事の実施〕成徳小教室棟(外構2工区) 〔小・中学校校舎トイレ改修工事〕 〔河北小学校教室間仕切壁改修工事〕 〔中学校防犯カメラ設置〕 〔学校施設修繕・教材整備〕														A	

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

〈評価基準〉  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	2 学力向上の推進	1	・学力向上推進の支援(小・中連携教育の推進、合同研修会)	学校教育	中学校区教育の計画作成		東中校区合同研修会(6/5) 西中校区合同研修会(6/6)		中学校区別小中合同研修会		久米中校区合同研究会(10/8)	中学校区別小中合同研修会 河北中校区合同研究会(11/20)	西中校区合同研究会(12/7) 東中校区合同研究会(12/8)	河北中校区合同研究会(1/26)	特色ある中学校区教育の成果と課題の把握と改善策の提案		B		
		2	・わかる授業のための授業改善(教職員の指導力の向上)	学校教育	研究主任研修会(4/12) 中学校NRT(標準学力検査)実施 全国学力学習状況調査(4/18)	研究主任研修会 授業づくりに対する指導助言 要請訪問(5/31明倫小)	学校計画訪問での指導助言(6/30西郷小) 市初任研授業公開(6/26東中) 要請訪問(6/26河北小) (6/28北谷小) (6/29河北小)	学校計画訪問での指導助言 要請訪問(7/5灘手小)	授業改善研修(講師招聘・市初研と共催)(8/1)	学校計画訪問での指導助言(9/28西中) 全国学力学習状況調査分析及びホームページアップ(9/27)	学校計画訪問での指導助言(10/6河北小、10/18社小、10/31上小鴨小)	学校計画訪問での指導助言(11/6鴨川中、11/10久米中、11/14成徳小、11/24高城小)	研究主任研修会(11/13) 要請訪問(11/22小鴨小)	成果と課題の共有と改善策についての検討 要請訪問(12/12高城小) 中学校CRT実施(1,2年)	授業づくりに対する指導助言 要請訪問(1/22東中) 小学校NRT実施(全学年) 中学校CRT結果に基づき、授業改善、個別対応	学力実態の把握と分析研修計画	B		全国学力・学習状況調査から、中学校では特に数学において確実な学力の定着が見られた。一方、小学校においては、活用問題を中心にやや課題が見られた。調査結果については、分析で終わるのではなく、どう日常の授業改善につなげていくかを研究主任会で話し合い、各校の実践に活かしてもらうようにした。要請訪問においても、各校の調査結果を踏まえながら、適切な助言をするようにした。
		3	・細やかな指導を行うための体制づくり(少人数学級・教員加配)	学校教育	加配教員配置 加配教員研修											少人数加配の成果と課題の検証 改善に向けての検討	B	B	小学校外国語活動、教科外国語の先行実施を念頭に、平成27年度より教員研修を始めており、今年度も引き続き進めることができた。
		4	外国語教科化の対応(小学校・中学校)	学校教育	外国語活動支援員授業計画作成	中学校区別外国語指導助手(ALT)授業計画作成 外国語授業開始(西郷小・小鴨小) 次期学習指導要領改訂に伴う小学校外国語教育に係る研修会(5/9中部総合事務所19名参加) 中学校英語教育推進リーダーによる研修(5/16倉吉未来中心3名)	学校計画訪問での指導助言 年間指導計画作成への助言(西郷小・小鴨小) 中学校英語教育推進リーダーによる研修(6/20倉吉未来中心3名)	小学校英語パワーアップ事業連絡協議会(西郷小・小鴨小) 文部科学省教科調査官直山木綿子氏を招聘した小学校外国語研修会(7/11 30名参加) CAN-DOリスト活用研修会 次期学習指導要領改訂に伴う小学校外国語教育に係る研修会(8/7中部総合事務所15名参加) 中学校英語教育推進リーダーによる研修8/3倉吉未来中心3名 次期学習指導要領による小学校英語教育周知のための研修(8/23 倉吉未来中心 147名)	英語研修(教職員対象・児童対象)(8/7成徳公民館29名参加) CAN-DOリスト活用研修会 次期学習指導要領改訂に伴う小学校外国語教育に係る研修会(8/7中部総合事務所15名参加) 中学校英語教育推進リーダーによる研修8/3倉吉未来中心3名 次期学習指導要領による小学校英語教育周知のための研修(8/23 倉吉未来中心 147名)	小学校英語パワーアップ事業連絡協議会(西郷小・小鴨小) 指導案作成への助言(西郷小・小鴨小)	授業力向上への助言(校内授業研究会での指導助言及び日々の授業への助言)	小学校英語活動研修(講師招聘・市小学校長会・東伯郡小学校長会との共催)	授業力向上への助言(校内授業研究会での指導助言及び日々の授業への助言) ALT会議(12/14)	小学校英語教育推進リーダーによる研修 授業研究会での指導助言(1/22 東中3年英語) 校内研修会での指導助言(1/31 小鴨小学校)	小学校英語ワーアップ事業連絡協議会(西郷小・小鴨小) 小学校英語教育推進リーダーによる研修 倉吉市外国語・英語担当者研修会(2/6 上灘公民館)	・新教材、年計、指導案等を「倉吉共有」上で共有できるように整備 ・次年度の先行実施に向け、小中学校の先生方を対象とした研修会を実施し、新学習指導要領までのスケジュールや目標、具体的内容を周知した。 ・倉吉市としての施策を周知する研修会も実施し、小3～小6の年間指導計画も提示した。中学校の先生方にも知って頂き、小中連携をした授業実践につなげて頂くよう依頼した。	B		年計を作成し、小学校の先生方の負担感が少しでも軽減され、より意欲的に授業に臨んで頂けるよう準備をした。

〔評価基準〕  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	豊かな心とたくましい体の育成	1 ・人権教育の充実(育てたい資質・能力を明確にした実践)	学校教育	第1回人権教育主任者会(4/12) 講師 県教育委員会人権教育課 山本指導主事		第2回人権教育主任者会(6/16) 講師 倉吉市人権局長 下吉課長補佐		第3回人権主任者会		地区学習会計画訪問	第3回人権主任者会(11/28) 久米中学校教諭 実践発表 久米中校区同研(高城小、久米中)		第4回人権主任者会(2/27) 各学校実践報告 指導助言 県教委人権教育課 山本指導主事	少数加配の成果と課題の検証 改善に向けての検討	B			
		2 ・道徳教育・体験活動の充実(乳幼児ふれあい事業)	学校教育		乳幼児ふれあい会(小学校13校、中学校5校家庭課の授業の中で実施)小鴨小5/30,6/1,2	道徳授業改善についての発信 乳幼児ふれあい会河北小6/21,27西郷小6/16,20上灘小6/28,30成徳小6/13明倫小6/26社小6/8,9北谷小6/27上小鴨小6/29関金小6/19	乳幼児ふれあい会上北条小7/6灘手小7/4高城小7/5	道徳教育主任研修会	乳幼児ふれあい会 河北小9/13,20西郷小9/12,14上灘小9/22,27上小鴨小9/5	乳幼児ふれあい会 上北条小10/27成徳小10/18灘手小10/6北谷小10/31高城小10/6小鴨小10/3,4,5関金小10/26	乳幼児ふれあい会 明倫小11/24社小11/10,17		乳幼児ふれあい会評価	B		人権教育に関しては、概ね計画通りに実施することができた。		
		3 ・相談体制の充実、いじめや問題行動の未然防止、(倉吉市いじめ防止基本方針の徹底、不登校対策)	学校教育	・生徒指導主任・主事研修会 ・心の教室相談員、子どもと親の相談員配置 ・SSWRによる支援活動(年間) ・重点校における定例会の開催(年間) ・生徒指導支援会議(年間)	各校個別の指導計画、登校サポートシート作成・活用(年間) 生徒指導についての学校計画訪問(前期) 要保護児童対策会議(随時) 子ども支援センター児童生徒受け入れ不登校児童生徒への家庭訪問の実施(担当との連絡及び助言各月末に)年間 長期休業明け欠席状況調査(年間) 月3日欠席早期対応(年間) 不登校児童生徒対策会議(学校教育課、中部教育局、対策センター)(年間)	生徒指導対策推進会議① 生徒指導対策推進会議② 先進地視察 生徒指導についての学校計画訪問(前期) 高城小(6/22)社小(6/23)明倫小(6/26)関金小(6/27)成徳小(6/27)灘手小(6/28)東中(6/30)上小鴨小(6/30) 不登校児童生徒対策会議(学校教育課、中部教育局、対策センター)(年間)	不登校児童生徒へのアウトリーチ型支援開始 生徒指導についての学校計画訪問(前期) 鴨川中(7/3)久米中(7/4)西郷小(7/5)上灘小(7/10)上北条小(7/11) いじめ・不登校研修会(7/28 未来中心)	第1回青少年問題対策協議会(8/1) 生徒指導対策推進会議①(8/22 午前小鴨小・西中 午後河北小・河北中)	倉吉市不登校児童生徒保護者の会	生徒指導についての学校計画訪問(後期) 北谷小(10/25)高城小(10/26)明倫小(10/27)成徳小(10/31) 総社市への先進地視察(10/16)	生徒指導についての学校計画訪問(後期) 関金小(11/2)灘手小(11/13)上灘小(11/13)鴨川中(11/14)上小鴨小(11/14)西郷小(11/15)社小(11/21)上北条小(11/29)東中(11/30)久米中(11/30) 花想会(11/21 上灘公民館 保護者7名参加)	拡大不登校対策会議(12/25 対策センター指導主事、中部教育局指導主事、学校教育課) 中部子ども支援センター・中部ハートフルスペース合同説明会(1/27 中部ハートフルスペース) スクールソーシャルワーカー研修会(1/28 大阪市)	第2回青少年問題対策協議会(2/7) 第2回花想会(2/27予定) 先進校視察(鳥取市立桜ヶ丘中学校)	子ども支援センター修了式(3/23)	C		・小中学校18校が、いじめ防止基本方針に則り、いじめの未然防止と早期対応を図っている。 ・不登校対策として重点4校を指定し、各校で毎月関係者が集まってスクリーニング会議を行った。各校の事案について早期にそれぞれの機関ができることを話し合い、有用な会となった。来年度よりよい会になるよう工夫していきたい。 ・全市における不登校は、小学生が前年度比3名増加、中学生は前年度並みだった。	



(評価基準)  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月		
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	3	豊かな心とたくましい体の育成	4	学校教育	・親子で学ぶ食の教室希望調査(小学校13校年間を通じて随時)	児童体育祭(5/10)	県中学校総体予選(6/8,9)	県中学校総体(7/22,23)	鳥取県小学校水泳大会(8/3)	小学校中部陸上(9/29)	中学校中部新人大会(10/6,7)	性教育講座(中学校5校年間を通じて随時)	河北中性教育講座(12/6)東中性教育講座(12/7)久米中性教育講座(12/7)西中性教育講座(12/11)	鴨川中性教育講座(1/20)	第2回学校保健委員会(2/8)	・喫煙防止教育を小学校8校、中学校3校実施。 ・性教育講座中学校5校実施。 ・新体力テストの結果でおおむね良し(A~C)と判定される児童生徒の割合。小学校中学校調査中 ・通学路の新規危険箇所を抽出した結果、18箇所の合同点検を実施し、決定した対策について各機関で実施していくことになった。	B				
					・安全教育総合支援事業の実施	運動会(13校)第1回中部学校保健会(5/25)	喫煙防止教育(小中学校18校年間を通じて随時)	小学校中部水泳(7/25)	通学路の危険箇所合同点検(8/8,21,22)	中学校中部駅伝(9/21)	倉吉市通学路の安全確保に係わる連絡協議会の開催(10/16)	上北条小喫煙防止教育(11/24)	上灘小喫煙防止教育(1/12)河北小喫煙防止教育(1/26)	社小喫煙防止教育(2/1)灘手小喫煙防止教育(2/8)上小鴨小喫煙防止教育(2/9)	安全教育総合支援事業成果報告会(2/2)						
					・たくましい体の育成(体育、健康教育、学校保健の充実、安全教育の充実)	新体力テスト	倉吉市通学路の安全確保に係わる連絡協議会の開催(7/4)	鳥取県中学校総合体育大会結果報告及び全国大会・中国大会出場激励会(7/28)	鳥取県小学校水泳大会(7/28)	倉吉市通学路の安全確保に係わる連絡協議会の開催(9/25)	成徳小喫煙防止教育(10/6)	関金小喫煙防止教育(12/15)	安全教育総合支援事業研修会(1/26)								
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4	倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1	学校教育	小学生副読本「わたしたちの倉吉」活用	授業で随時活用						倉吉風土記改訂作業	倉吉風土記改訂作業	倉吉風土記増刷	・「わたしたちの倉吉」は小学校社会科の授業で随時活用、「くらし風土記」は、土曜授業における「ふるさと学習」等で活用した。	B					
					「くらし風土記～倉吉学入門～」の活用(土曜授業等)	中学生が土曜授業で活用(5/27)		中学生が土曜授業で活用(7/1)		中学生が土曜授業で活用(9/30)				倉吉検定2年生対象に試行							
					倉吉検定の実施																
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4	倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	2	学校教育	地域教材・ゲストティーチャーを活用した学習(年間)	西郷小 消防署見学(4/25)4年56名	河北小 全校遠足(4/28)大平山公園365名	上灘小 全校遠足(4/28)大御堂廃寺跡310名	灘手小 全校遠足(4/26)灘手地区内38名	上北条小 全校遠足(4/28)青少年の森等141名	消防署訪問4年(4/24)北谷小(4/25)関金小	地域教材・ゲストティーチャーを活用した学習(年間)	西郷小 スイートランドTAKARA(11/14)3年50名	西郷小 スイートランドTAKARA(11/14)3年50名	西郷小 デイサービスとま(1/18)6年49名	明倫小 倉吉博物館(1/26)3年24名	北谷小 倉吉博物館(2/2)3年7名	西中 西高(2/2)2年112名	・各小中学校がそれぞれの教育課程に合わせた、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学んでいる。体験学習も取り入れられており、児童生徒がふるさと倉吉への思いを深め、関心を高める一助となっている。	B	B
					西郷小 消防署見学(4/25)4年56名	河北小 全校遠足(4/28)大平山公園365名	上灘小 全校遠足(4/28)大御堂廃寺跡310名	灘手小 全校遠足(4/26)灘手地区内38名	上北条小 全校遠足(4/28)青少年の森等141名	消防署訪問4年(4/24)北谷小(4/25)関金小	西郷小 スイートランドTAKARA(11/14)3年50名	西郷小 スイートランドTAKARA(11/14)3年50名	西郷小 デイサービスとま(1/18)6年49名	明倫小 倉吉博物館(1/26)3年24名	北谷小 倉吉博物館(2/2)3年7名	西中 西高(2/2)2年112名					
					西郷小 消防署見学(4/25)4年56名	河北小 全校遠足(4/28)大平山公園365名	上灘小 全校遠足(4/28)大御堂廃寺跡310名	灘手小 全校遠足(4/26)灘手地区内38名	上北条小 全校遠足(4/28)青少年の森等141名	消防署訪問4年(4/24)北谷小(4/25)関金小	西郷小 スイートランドTAKARA(11/14)3年50名	西郷小 スイートランドTAKARA(11/14)3年50名	西郷小 デイサービスとま(1/18)6年49名	明倫小 倉吉博物館(1/26)3年24名	北谷小 倉吉博物館(2/2)3年7名	西中 西高(2/2)2年112名					

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

〔評価基準〕  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	3 ・土曜授業の実施(ふるさと学習を中心とした地域との共催)	学校教育		土曜授業(5/27)		土曜授業(7/1)		土曜授業(9/30)		土曜授業(11/11)		土曜授業(1/20)	アンケート実施(成果と課題の把握)			・計画通りに実施し、土曜日という日を活かして特色ある取組を実施した。	B		B
		4 ・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施	学校教育	地域と連携した菜の花プロジェクトの実施(年間)	倉吉市小・中学生淀屋サミットの開催(5月13日)小学生39名、中学生16名、高校生4名参加				菜の花の種子散布 中学生関係機関訪問JA(9/19)市長(9/25)国交省(9/15)中部総合事務所(9/20)農大(9/19) 共同区域種子散布(9/23)小学生7名、中学生9名 西郷小(9/25~10/20) 河北小(9/26)明倫小(9/20,29)成徳小(9/28)上灘小(9/26)小鴨小(9/29,10/2)上小鴨小(9/13,21)北谷小(9/30)高城小(9/26)社小(9/30)灘手小(9/30)上北条小(9/30)関金小(9/19,25,11/7)鴨				菜の花の種子散布 東中(10/5)西中(10/10)久米中(10/6)河北中(10/3,19)		菜の花プロジェクト報告会(12/2) 小学生45名中学生25名参加		・今年度で9年目となり、学校が主体となって地域を交えた取組が定着してきた。今年度は、中学校区での共通実践に取り組んだ。	B		
	5 家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	1 ・開かれた学校づくりの推進(学校評価の効果的な活用)	学校教育	学校ウェブページの更新 前年度の学校評価結果にもとづく学校経営の重点化		学校一斉公開(6/14,15)		地域学校委員会による関係者評価				各校で学校公開や行事への参加呼びかけ		保護者・教職員・児童生徒アンケートをもとにした学校自己評価(中間)と関係者評価		次年度に向けた改善策の検討と関係者評価及び公開	・概ね計画通りに実施した。学校のウェブページも児童の生徒の活動の様子が保護者や地域の方に発信している。	B		B
2 学校地域連携の取り組み推進(子どもの出番づくり)	学校教育	〇〇地区「教育を考える会」計画 小鴨地区敬老会演奏披露(小鴨小:4/16)	地域クリーンアップ活動(明倫小5/27) 地区運動会の運営補助	河北地区教育を考える会(6/24)	各地区夏まつりに参加 玉川トラッシュハンティング(東中:7/1) 玉川清掃(成徳小:7/1) 国道フェンス清掃(河北中7/11)		各地区運動会の運営補助 地域合同防災訓練(成徳小、上小鴨小9/30) 地域へのあいさつ運動の呼びかけ(河北小)	教育を考える会 小鴨地区(10/5) 上小鴨地区(10/11) 北谷地区(10/13) 西郷地区(10/29)	各地区文化祭に出演・出品 教育を考える会 関金地区(11/2) 明倫地区(11/7) 高城地区(11/11) 灘手地区(11/22) 上灘地区(11/22)	教育を考える会 上北条地区(1/26) 社地区(1/30)	教育を考える会(2/8)		・13地区で「教育を考える会」を実施。各地区において子どもの成長を考えた内容のものが実施され、熱心に協議等が行われた。	B		B				
3 ・学校運営に参画する体制づくり(地域学校委員会の充実)	学校教育	各校地域学校委員会 地域学校委員任命 ボランティア募集開始 学校支援ボランティア活動(年間)	第1回倉吉市地域学校推進協議会(6/17)		各校地域学校委員会(一学期のまとめ)				各校地域学校委員会(二学期のまとめ)		第2回倉吉市地域学校推進協議会(2/3)	各校地域学校委員会(三学期のまとめ)	・各学校の地域学校委員会が地域の特色を生かして活動し、地域と学校との連携がより強化されてきた。学校支援ボランティア人数1,656人 のべ人数29,423人	B						
6 よりよい倉吉教育を目指して	1 ・特別支援教育の充実(児童生徒を支える学校体制づくり)	学校教育	特別支援教育主任研修会(4/11) 教科指導法研究事業の実施	まなびの教室教育相談(5/10) 第1回教科指導法研究事業指導者研修会(5/19) 1年生訪問	まなびの教室教育相談(6/7)	まなびの教室教育相談(7/5) 教科指導法研究事業関金小研修会(7/18) 教科指導法研究事業1学期を終えての指導に関するアンケート実施	まなびの教室教育相談(8/2) リーダー育成研修会(8/22) 第2回教科指導法研究事業指導者研修会(8/8)	まなびの教室教育相談(9/6) 市就学指導委員会(9/22) 研修視察(9/3体づくりセミナー、9/11松江市先進地視察)	まなびの教室教育相談 リーダー育成研修会	まなびの教室教育相談 リーダー育成研修会 市就学指導委員会	まなびの教室教育相談 特別支援中学校区研修会 市就学指導委員会	まなびの教室教育相談 倉吉市子どもの発達支援研修会 第3回教科指導法研究事業研修会	第4回教科指導法研究事業研修会 1年間を終えての指導に関するアンケート	・まなびの教室教育相談により次年度に入学する児童の就学支援につながった。 ・リーダー育成研修会では、リーダーとして校内外に広める取組ができなかった。内容・参加対象を検討していきたい。 ・教科指導法研究事業では、体づくり運動を取り入れ、国語科と体育科の実践を行った。	B	B	発達障がいの可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究事業により発達支援アドバイザーを中心に全小学校でつまずきのポイントを明らかにし支援策を提案したり、子ども家庭課との情報共有を密にしたりして、早期支援を行う体制づくりに努めた。			

〔評価基準〕  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	6	2 家庭教育の充実(研修機会の拡大)	学校教育														・小P連・中P連との共催により教育講演会を開催して、3年目となった。保護者の参加を増やそうと講師を選んだ結果、参加者が増え、内容も満足のものとなった。	B		新入学学用品費等を増額かつ入学前支給を行うことで、入学準備の保護者負担を軽減することができた。	
			学校教育	就学援助の委任状・口座等とりまとめ												就学援助審査会			B		
		3 ・教育助成の充実(就学援助事業の周知と適切な執行)	学校教育	修学旅行費支払い	学用品費等支払い	特別支援教育就学奨励費支給決定	特別支援教育就学奨励費支払い	学用品費等支払い	特別支援教育就学奨励費支払い							特別支援教育就学奨励費支払い	入学児童・生徒就学援助の委任状・口座等とりまとめ				B
	7	学校給食の充実、食育の推進	1 栄養教諭等による食に関する指導	給食センター	・指導計画作成及び指導案提示 ・全学級訪問指導(教科等での指導)	給食時間を使った食に関する指導 4回 教科・学活等を使った食に関する指導 4回	給食時間を使った食に関する指導 1回 教科・学活等を使った食に関する指導 10回	給食時間を使った食に関する指導 7回 教科・学活等を使った食に関する指導 2回	教科・学活等を使った食に関する指導 1回 親子で学ぶ食の教室 1回	給食時間を使った食に関する指導 5回 教科・学活等を使った食に関する指導 5回	給食時間を使った食に関する指導 2回 教科・学活等を使った食に関する指導 21回	給食時間を使った食に関する指導 15回 教科・学活等を使った食に関する指導 28回	給食時間を使った食に関する指導 9回 教科・学活等を使った食に関する指導 12回	給食時間を使った食に関する指導 3回 教科・学活等を使った食に関する指導 15回	給食時間を使った食に関する指導 4回 教科・学活等を使った食に関する指導 7回		・小中学校9年間を通じて計画的な指導を行うことにより、児童・生徒の「食に対する理解と関心」を深めることができた。 全小学校1年生とその保護者を対象とした「親子で学ぶ食の教室」については、平成28年度に鳥取県中部地震のため中止となった分も含め、計27回開催した。また、この教室は保護者の参加が多く、参加した保護者からは「食に関する会話が家庭内で増えた」などの声をいただいている。	B		・給食主任や学級担任、教科担任等と連携を図りながら、望ましい食習慣の定着につながるよう、食に関する指導等を進めることができた。 ・調理業務の衛生管理等を徹底することで、安全・安心な給食の提供につなげることができた。 ・研修会を開催することで、教職員が食物アレルギーの基礎的知識を習得し、児童・生徒のアレルギー-症状発症時の校内の緊急対応等への共通理解を図る貴重な機会となった。	
				2 学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底	給食センター	(通年)「定期及び日常衛生検査」による点検と改善													学校給食衛生管理基準に基づく、調理業務の衛生管理等について、工程表等を確認しながら責任者と協議し、随時指導を行った。	B	
				3 食物アレルギー対応の推進	給食センター	(通年) ・食物アレルギー対応の検討 ・情報共有の確立				・食物アレルギー対応研修会(8/3に開催、参加者28名)										食物アレルギー用献立表(全員分・個別分)を作成し、学校・保護者と連携しながら食物アレルギー-事故の防止を図った。	B



〈評価基準〉  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	地域力を育む社会教育の推進 ～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	成人式(成人式実行委員会、中学生ボランティアによる運営)	生涯学習	・成人式実行委員募集			・成人式実行委員会OB・OG打ち合わせ会 (7/16)	・第1回成人式実行委員会OB・OGによる運営(導入部分) (8/19、8/20)	・第2回成人式実行委員会 (9/16)	→成人式実行委員会	・第3回成人式実行委員会	・第4回成人式実行委員会	・成人式1/3・中学生・高校生ボランティア ・実行委員会OBボランティア	・第5回成人式実行委員会	成人式に酒類・拡声器等の不要物の持ち込み、場内の大声等不心得な行為があり、成人企画の一部を取りやめた。実行委員とOB・OGが主体的に企画・準備に関わることができた。今年度は中学生に加えて高校生もボランティアとして当日運営に参加した。実行委員 16名 実行委員OBOG 6名 中学生ボランティア 32名 高校生ボランティア 13名	C		○成人式実行委員が主体的に役割を果たし、企画・準備を行うことができた。OB・OGも引き続き相談役として関わり、つながりを保つことができた。式の警備体制の充実が課題となる。  ○各種講座は、昨年度に引き続き地域課題を意識しながら実施。学習成果を地域の活動に活かせる内容とした。  ○看大・鳥短公開講座、鳥大講座ともに、地域の課題と大学の専門性の均衡を図った学習機会の提供もあって、参加者の学びが深まった。
				地域力を育む社会教育の推進 ～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	各種講座開設 専門・実践的な高等教育を受けられる機会確保(鳥取看護大学・短期大学・倉吉市連携講座、生涯学習講座、鳥取大学連携講座、人材銀行、女性連絡会)	生涯学習	・夏休み講座検討会・社会教育事業検討会(関金温泉1300年) ・人材銀行てびきの発刊 ・利用PR(市PTA連・自治連)	・看護大・短大連携講座(第1回) (6/23・85人)	・看護大・短大連携講座(第2回) (7/21・78人) →鳥取大学講座 ・夏休み期間の社会教育関係課各種事業一覧表を作成し全児童・生徒へ配布	・看護大・短大連携講座(第3回) (8/4・82人) ・看護大・短大連携講座(第4回) (8/18・108人)	・看護大・短大連携講座(第5回) (9/15・70人) ・鳥大連携パソコン講座「パソコンで手作り地図を作ろう1」 (9/30・6人)	・鳥大連携パソコン講座② (10/29 6人) →生涯学習講座(第2→3回→市内研修)	・鳥大連携パソコン講座③ (11/18 8人) ・鳥大連携パソコン講座④ (11/25、26 4人)	・生涯学習講座(市内研修) (12/2・42人)	・夏休み講座反省会・次年度社会教育事業検討会 (2/16)	【看大・鳥短公開講座】地震の経験から、共助を意識したテーマを設定。今自分たちができることを考えた。 【生涯学習講座】従来の講座に加え、県と連携して「若者講座」を実施。市内外の若者が学習・交流を図る新たな取り組みを始めた。従来講座の中で関金温泉1300年関連事業に取り組んだ。 【鳥取大学講座】参加者は少なかったものの、鳥大で講習を受け、各自が学びを深めることができた。 【女性教育】女性連絡会の活動が中学校区並びに全市において実施できた。活動(研修会)の中で参加者間の活発な意見交換、主体的な交流が進められた。	A	○社会教育関係課の連絡会により、事業日程の重複を防ぎ、参加しやすいよう配慮した。また、連携して事業を行うことで内容の充実と事務軽減が図られた。  ○女性が企画運営の主体となって学習を実施することで、当事者意識を持って事業に参画でき、学習テーマに即した学びに加え、企画運営力も培うことができた。また、地域を越えた女性同士のネットワークの構築に繋がった。

〔評価基準〕  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	支えあう人づくり・輝くまちづくりや地域のコミュニティ形成に向けた学習活動の推進～	1 青少年の健全育成と青少年団体の育成支援(子ども会・ものづくり道場・伝統文化体験教室)	生涯学習	・市子ども会連絡協議会総会 ・ものづくり指導者派遣、手づくり教室の実施(年間) ・中部地区社会教育担当者会(第1回 4/14)	・倉吉市子ども会育成連絡協議会総会(5/31) ・中部地区社会教育担当者会(第2回 5/1)	・中部地区社会教育担当者会(第3回 6/1、第4回 6/21) ・中部地区少年少女のつどい(6/24 児童144人)	・子ども会安全啓発初級指導者養成講習会(7/2) ・ものづくり指導者養成講座(7/2、9、15、16、23、30) ・中部地区社会教育担当者会(第5回 7/12)	・倉吉市子ども会育成連絡協議会理事会(8/29) ・中部夏の手づくり教室(8/20、27) ・夏休み子ども体験教室(8/2、4、20、27) ・中部地区生涯学習実践研究会交流会(8/30)				・中国・四国地区子ども会育成研究協議会(11/18-19) ・倉吉市子ども会リーダー研修会(11/25) ・中部地区社会教育担当者会(第6回 11/27)		・倉吉市子ども会育成連絡協議会理事会(2/23) ・中部地区社会教育担当者会(第7回 2/8)	・倉吉市子ども会リーダー研修会及び倉吉市子ども会育成者研修会(3/24) ・中部冬の手づくり教室	【子ども会】倉吉市子ども会育成連絡協議会が実施する研修会に加え、鳥取県子ども会育成連絡協議会等が実施する研修会にも参加者が多く、児童や保護者間で子ども会活動への理解や取り組み方が広がった。 【中部地区社会教育担当者会】積極的な広報活動に努め、例年以上に多くの児童の事業参加が得られた。 【フォーラム】市内高等学校同士や高校と中学校、高校と地域を繋ぐきっかけを作ることができた。	A		○「子ども主体による子ども会運営」とする子ども会のあり方を新規役員(理事)と共有し、子ども会の活動支援に繋がる事業が実施できた。 ○異なる学校や地域の仲間に加え、サプリーダ(中高大学生)と協力しながら自然活動や体験活動を行い、新たな人間関係の構築や楽しさの中で子どもの生きる力を育んだ。 ○地域で活躍されている多くの関係者に高校生の力や魅力を伝えるとともに、地域と高校生を繋ぐ役割を果たすことができた。
		2 放課後子ども事業推進事業(児童館一体型、子どもいきいきプラン、通学合宿)	生涯学習	・関金放課後子ども教室(児童館一体型)開級 ・放課後子ども教室(1地区・関金地区) ・第1回倉吉市放課後子ども教室運営委員会4/27 ・各地区子どもいきいきプラン実施	→倉吉市放課後子ども教室運営委員会		→倉吉市放課後子ども総合プラン運営委員会(第1回)	→倉吉市放課後子ども総合プラン運営委員会(第2回)	・第2回放課後子ども教室運営委員会 10/31						→放課後子ども教室運営委員会	運営委員会を2回実施。事業内容と進捗を確認した。各地区における放課後子ども教室については、市内で14教室、年間を通して実施した。	B	B	○放課後子ども教室を通して、子どもの居場所づくりと、子どもと地域住民との交流を促すことができた。運営委員会では、各地区の取り組みについて情報共有を行い、新たな事業の実施へ結びついた地区もあった。
		3 倉吉地区少年補導センター事業への参画、青少年育成協議会との連携	生涯学習	・街頭補導(毎月) ・高校生マナーアップさわやか運動(4/11～4/14) ・青少年育成推進指導員委嘱状交付式(4/20)		・幹事会(5/2) ・運営委員会(第1回 5/8) ・評議委員会(第1回 5/24)	・少年補導センター情報交換会(6/26) ・運営委員会(第2回 6/29) ・倉吉市青少年育成協議会(第1回 6/23)	・青少年育成者研修会(7/4) ・「家庭の日」絵画作品募集 ・青少年育成推進指導員・青少年健全育成協力員中部ブロック合同研修会(7/13)	・家庭・地域でのペアレンタルコントロール啓発街頭活動(8/5)	・幹事会(9/21) ・運営委員会(第3回 9/29) ・高校生マナーアップさわやか運動(9/5～8) ・家庭の日絵画作品一次審査会(9/20)	・運営委員会(第4回 11/21)	・ペアレンタルコントロール緊急啓発活動(12/2)	・運営委員会(第5回 1/26) ・「家庭の日」絵画作品巡回展(1/20-30)	・評議委員会(第2回 2/23) ・運営委員会(第6回 3/14)	【倉吉地区少年補導センター】倉吉地区少年補導センターの事業に関する協議や情報交換を行なう運営委員会を6回、予算や事業計画について協議する評議委員会を2回実施した。また、市町の定期的な街頭補導に加え、青少年関係者の研修会実施や参加、啓発に努めた。 【倉吉市青少年育成協議会】あいさつ運動や研修会への参加に加え、他の青少年団体と協力しペアレンタルコントロールの重要性の普及に積極的に努めた。	B	B	○補導対象事業や街頭補導の内容を見直し、県助成金の増額や中高生の現状に基づく補導活動を実施した。学校や福祉行政機関との情報共有が促進され、管内の青少年を取りまく課題(薬物乱用や相談機関の周知)に対応した取組みが実施できた。 ○インターネットを通じ青少年が被害者になる事件が全国的に続発したことを受けて、啓発活動の回数を増やした。ペアレンタルコントロールの重要性の普及に積極的に努めた。	



〈評価基準〉  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10 公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	1 学習の質向上と学習成果の活用(公民館と地域振興の連携)	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館職員初任者研修会(4/13)</li> <li>・公民館職員研修会(4/21)</li> <li>→公民館管理委員長会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回市公連理事会(5/25)</li> <li>・公民館長研修会(5/9)</li> <li>・公民館主事研修会(5/18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館主事研修会(6/15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回市公連理事会(7/24)</li> <li>・公民館長研修会(7/11)</li> <li>・公民館主事研修会(7/20)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→公民館長研修会8/8(中止)</li> <li>・公民館主事研修会(8/17)</li> <li>・中部地区社会教育関係者研修会(8/30)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回市公連理事会(9/11)</li> <li>・公民館長研修会(9/5)</li> <li>・公民館主事研修会(9/21)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館長会(10/10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長会「社会教育委員と語る会」11/14</li> <li>・公民館主事研修会(11/16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→公民館主事研修会</li> <li>→公民館管理委員長会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館長会との意見交換1/9</li> <li>・公民館管理委員長会(1/18)</li> <li>・公民館主事研修会(1/18)</li> <li>・社会教育主事講習(1/22～2/28)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館長会(2/13)</li> <li>・公民館主事研修会(2/15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館長会(3/13)</li> <li>・公民館主事研修会(3/15)</li> </ul>	<p>市公連・館長会と連携し、主に公民館事業の充実・課題解決等について検討・議論した。</p> <p>定例館長会内において社会教育委員と語る会を設け、相互理解を深めた。</p> <p>館長会・主事会ともに、災害時の地区公民館の役割について検討を進めている。</p> <p>今年度より全館に社会教育主事講習受講生が配置された。</p>	A		<p>○社会教育主事講習を受講した主事が全26人中21人となり、専門的見地から各館事業の見直しや、主事研修会成果物作成を行った。また、主事研究部会において各館に共通する課題について主事自らが解決法を考え、市全体の改善につなげている。</p>	
				2 人づくり・地域づくりの推進(公民館研究指定事業)	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館研究指定事業の委託、運営支援</li> <li>・情報発信(館報・HP紹介、マスコミ情報提供)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上井：AKB「自分の体を知ろう！」(5/26)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高城：地域課題研究ワークショップ(6/16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上灘：うわなだ未来塾(7/1)</li> <li>・小鴨：地域共生づくり「明日のためにみんなで話そう」(7/4・6)</li> <li>・灘手：NBS「ロケットストア」(7/8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷：アイラブ西郷っ子「宝地をつくろう！」(8/21)</li> <li>・上北条：ウェルカム上北条(8/24)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北谷：健康づくり「こも豆腐」(9/27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→公民館計画訪問(帳簿点検)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館まつり(11/30～12/2)作品展示来場者数1270人、舞台発表来場者数774人</li> <li>・公民館研究大会(12/15)</li> <li>・明倫：明倫紀行「調べる地名の由来」(12/7)</li> <li>・社：県青少年活動実践交流会実践発表(12/17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関金：せきがね創生「わがまち再発見②」(11/17)</li> <li>・成徳：いきいきシニア「健やかに老いる実践法」(11/20)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小鴨：県生涯学習講座実践発表「地域のお宝再発見！」(2/11)</li> <li>・社：県公民館研究集会実践発表「全国公民館コンクール最優秀賞受賞」(2/15)</li> <li>・小鴨：鳥取市公民館研究集会実践発表「地域づくりを発想する」(2/22)</li> <li>・上小鴨：支え愛マップ作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷：アイラブ西郷っ子「スポーツライミング」(3/2)</li> </ul>	<p>【公民館報】社公民館報の全国コンクール最優秀賞を受け、県公民館研究集会で実践発表。</p> <p>【公民館計画訪問】地震の影響で2年ぶりの開催。今年度より教育委員や地域づくり支援課も参加し、指導助言や情報交換を行った。</p> <p>【公民館研究指定事業】各公民館で地域課題解決に取り組んだ。次世代リーダー育成、地域資源の再発見など、人づくりやまちづくりに取り組んでいる。</p>	A	A	<p>○公民館まつりを通して、各地区公民館の取り組みを市民へ周知することができた。</p> <p>○公民館報のHP掲載を続け、公民館情報を広く発信している。</p> <p>○計画訪問の場が、地域の課題について社会教育に加え地域づくり担当課とも検討・議論できる可能性が見えてきた。「社会教育」を通じて「地域を育む」取り組みを共有することができた。</p>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生ボランティア(地区桜祭り運営)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中・高生等青少年の公民館事業(祭り、運動会等)への参加推進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生ボランティア(地区夏祭り運営)</li> <li>・小鴨：夏休みお助け隊(8/2・3)</li> <li>・上灘：夏休みお助け隊(8/7～10)</li> <li>・明倫・社：サマースタディ(8/8～10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生ボランティア(地区文化祭運営)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人式中学生ボランティア32名</li> <li>・高校生ボランティア13名</li> </ul>	<p>地区公民館職員が自治公協議会(体育部など)や地区振興協議会の役員に中高生ボランティアの活用を助言、コーディネートし、地域活動につなげている。</p> <p>公民館主催事業において、小学生の宿題を中高生ボランティアが支援するなど、活躍の場を提供し、つながりを保っている。</p>	B		<p>○公民館報や事業が全国・県下・他市でも評価されている。雑誌掲載や実践発表を通じ、市内外の社会教育に貢献している。</p>					

〈評価基準〉  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10	公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	3	安全安心な施設整備(公民館災害復旧工事(上北条、上井、西郷、上灘、明倫、灘手、北谷、高城、小鴨、上小鴨)、空調整備(西郷、北谷))	生涯学習	・修繕随時 ・公民館災害復旧工事(上北条、上井、西郷、上灘、明倫、灘手、北谷、高城、小鴨、上小鴨)												【修繕工事】鳥取県中部地震の災害復旧工事は計画的に実施した。予定した工事は計画的に実施するとともに、上小鴨公民館の雨漏り及び明倫公民館の空調設備不良等随時発生するトラブルに対し、迅速に対応した。	A	A	○安全で安心な公民館施設の維持管理に努めた。早急に対応が必要な課題について専門部局と確認・協議を実施し、公民館と連携しつつ業務を遂行した。
	11	体育・スポーツの振興	1	スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)	生涯学習	・海洋センターカヌー教室 ・教室生徒中国大会予選出場	・スポーツ教室開催 【高城】テニスクラブ(2回27人) 【社】ふらばーるボールバレー(1回15人) 【灘手】ウォーキング(2回13人)	【成徳】ファミリーバドミントン(3回63人) 【灘手】ウォーキング(1回11人)	【灘手】ウォーキング(2回13人)	【灘手】ウォーキング(1回7人)	【社】フルタイムウォーキング(1回10人) 【北谷】フルタイムウォーキング(2回24人) 【上小鴨】ファミリーバドミントン(4回68人) 【灘手】ウォーキング(1回10人)	【社】ファミリーバドミントン(1回18人) 【上灘】ふらばーるボールバレー(3回126人)	【上北条】ふらばーるボールバレー(3回126人) 【上灘】ふらばーるボールバレー(1回50人) 【西郷】ファミリーバドミントン(1回29人) 【関金】ファミリーバドミントン(2回35人) 【灘手】ウォーキング(2回13人)	【西郷】ファミリーバドミントン(2回15人) 【西郷】ファミリーバドミントン(1回22人) 【関金】ファミリーバドミントン(1回18人)	【明倫】ファミリーバドミントン(2回23人)	【灘手】ファミリーバドミントン(1回10人)	【スポーツ教室】 ・小鴨地区を除く12地区でスポーツ教室を実施。延723人をの参加であり、昨年度実績770人並みの参加者となった。しかし、ピーク時の885名(H27実績)から年々減少していることを踏まえ次年度以降の実施計画の検討が必要。 【指定管理者教室】 ・体育施設指定管理者ミズノによるトップアスリート教室を開催。参加人数：45名 講師：飯塚翔太選手(リオ五輪・銀メダル、世界陸上競技ロンドン大会銅メダル獲得) トップアスリートの体力や技術を体感した貴重な機会となった。次年度以降も同様の事業実施を計画する。	B	B	○年度上半期は、震災復興対応が通常業務を大きく圧迫し、業務をこなすことに職員が追われる状態であった。このため、全般に概ね計画どおりに実施できたものの、結果として例年どおりのことを行っただけであり、各事業を連動させ繋げることができていない。次年度も災害復旧は残るが、今ある事業を再度見直し、事業ごとの連携を高めていくことを計画する。	
						・B&G関金海洋センター艇庫開館(4/6～9/30)					・日本財団主催事業協力							【関金海洋センター】 ・震災の影響により利用人数が1,922人と28年度実績3,138人から大幅に減少。			○震災の影響から各教室参加者は減少している。また、各地区スポーツ教室は事業の目的が薄れ参加人数が減少している。このことから、各地域で開催するスポーツ教室を来年度以降スポーツ推進委員が主体的に取り組むことを検討する。 【各種補助】 ・児童・生徒全国大会補助金3/14現在で23件であり昨年度19件を上回る。 ・大規模スポーツコンベンション系の補助は、交流人口を増加させ市の賑わい創出につながった。
						・児童生徒全国大会出場費補助 ・櫻相撲(運営費補助)	・全日本ボウリングユース大会(運営費補助)			・中国中学フットボール選手権大会(運営費補助)											

〈評価基準〉  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	1 スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放事業</li> </ul>		東中、西郷小復旧工事	明倫小、社小、高城小、北谷小、鴨川中復旧工事	河北小、上灘小、久米中復旧工事							【学校開放】 震災復旧工事のため体育館が使用できない期間があったが、代替施設を確保したため年間の利用者数は例年と変わらず30,000人の利用となった。しかし、近隣学校施設への利用者誘導や増加する利用者の対応等により、企画運営委員会を所管する地区公民館には負担となった。	B		○大規模スポーツコンベンションは、来年度新組織へ移行される。倉吉体育文化会館がスポーツライミングで日本初の3種の壁を持つ施設として生まれ替り、11月にはクライミングアジア大会も開催される。この機会を活かしてライミングの聖地として全国に向けて発信する。あわせて市民にスポーツライミングをどのように根付かせるのか検討を早急に行う必要がある。また、ワールドマスターズゲームズの開催、東京オリンピック・フランス代表キャンプ誘致など、自転車競技の大規模イベントが予定されているが、個々の事業を一過性のものとするのではなく、「スポーツ振興を通じて地域の活性化を図る」の視点をもって、地域と自転車競技との関わりを深めていくことが必要となる。	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・校相撲選手権大会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回ニューススポーツ交流会、体力・運動能力調査(6/18ふらばーボールバレー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民体育大会(水泳競技7/17)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回ニューススポーツ交流会(1/28ファミリーバトントントン)</li> </ul>				【各種大会】 ・両駅伝大会は震災復興記念として開催。今年度は懸案事項であった警備・医療体制の強化を図った。 ・市民体育大会は、災害復旧工事が続くクレ射撃競技を除き、15競技を開催した。 ・ニューススポーツ交流会は昨年度と同程度の参加人数があり計画どおり開催できた。	B		
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京五輪自転車競技フランス代表デレクターによる視察</li> <li>・WMG関西大会及びクライミングアジア大会開催に向けた準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本クライミング選手権大会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京五輪フランスBMX代表、コースデザイナー視察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアクライミング大会実行委員会設立</li> <li>・中国中学フットボール選手権大会</li> </ul>									【スポーツ・コンベンション】 ・概ね順調に進んでいる。来年度機構改革により、市長事務局地域づくり支援課内に「スポーツコンベンション調整担当」が新設される。	B	



〔評価基準〕  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	2 スポーツ指導者の養成・団体の育成	生涯学習		・第1回スポーツ推進審議会												【スポーツ審議会】 ・災害復旧事業等により年1回の開催となったため、次年度以降年2回開催する。	C	○学校施設や体育施設のほとんどが被災し、復旧工事により練習環境が整わない中、各種大会での活躍は目覚ましい。今年度はスポーツ競技による市民栄誉賞の受賞もあった。また、今年度行った研修会等のアンケート結果に基づき、現場で必要となるスキルの向上を図り、次世代の子ども達が様々なスポーツに親しみ楽しみながら努力できる環境の創出を研究し、企画していきたい。
					・第1回体育協会常任理事会(5/15) ・体育協会理事会(5/23) ・スポーツ団体の情報の公表・更新		→市民体育大会総務委員会 →市民体育大会実行委員会	・県民スポーツ選手派遣(8/26、27水泳競技) ・市民体育大会総務委員会(8/10) ・市民体育大会実行委員会(8/22)	・中部駅伝選手派遣(9/10)	・きたろうカップ駅伝選手派遣(10/15) ・県民スポーツ選手派遣(秋季)(10/21～22)	・米子～鳥取間駅伝選手派遣(11/11～12)	・スポーツ表彰選考委員会(1/19) →倉吉市体育協会・スポーツ少年団・スポーツ推進委員等指導者研修会(予定)	・スポーツ表彰式会(2/18)	・倉吉市体育協会・スポーツ少年団・スポーツ推進委員等指導者研修会(3/11)	【体育協会】 ・震災の影響から上半期体育施設の利用停止により各団体は練習不足により表彰人数は激減している。また、スポーツ団体の情報公表・更新はできていない。	B			
				・スポーツ推進委員委嘱上交付式・協議会総会(4/7) ・スポーツ推進委員協議会第1回役員会(4/18)	・実技研修打合せ会	・スポーツ推進委員第1回実技研修会(5/24室内ガランドコート)	・スポーツ推進委員第1回講習会(7/3応急手当と熱中症対策) ・スポーツ推進委員中部地区実技研修会(7/23) ・中国スポーツ推進委員研修大会	・第1回スポーツ推進委員講習会	・スポーツ推進委員協議会第2回役員会(9/5)	・女子駅伝・日本海駅伝協力 ・第2階実技研修会打合せ会	・全国スポーツ推進委員研究大会	・スポーツ推進委員第2回実技研修会(12/47アミバドミントン)		・スポーツ推進委員第2回講習会(2/21ストレッチ)	・第3回決算監査・役員会(3/12)	【スポーツ推進委員】 ・概ね計画どおりに進んだ。次年度の事業見直しを役員会で検討しており、来年度からスポーツ教室をスポーツ推進委員事業として取り組み、地域開拓するスポーツ教室とニュースポーツ交流会をつなげることを考えた。スポーツ推進委員がさらに地域と連携する仕組みをつくり、スポーツ推進委員が「地域スポーツのコーディネーター」として定着するよう活動の充実を進めていきたい。	B		
	・鳥取県スポーツ推進員研究大会運営委員会	・鳥取県スポーツ推進委員協議会理事会・代議員会・編集委員会	・SUN・IN未来ウォーク協力		・郡市スポーツ推進委員実技研修会	・鳥取県スポーツ推進委員顕幽大会運営委員会・リーダー研修会			・鳥取県スポーツ推進委員研究大会		・県民のスポーツ編集委員会								○子ども達のスポーツ活動において、昨今ケガや故障の事例が多く報告されている。また、試合数が多いことがケガ等に繋がるとの事例もあるため、次年度以降スポーツ少年団の事業を見直すとともに、指導者の意識改革を含む研修等を充実していきたい。
	・スポーツ少年団本部総会(4/24) ・スポーツ少年団交流大会(野球4/8・5/7、バレーボール4/29)	・中部地区スポーツ少年団交流ミニバスケット大会(5/13)	・中部地区スポーツ少年団交流野球大会開会式(6/24)				・中部地区スポーツ少年団交流野球大会決勝トナメント(9/16・9/18) ・中部地区スポーツ少年団交流パドミントン大会(9/23)	・中部地区スポーツ少年団交流パドミントン大会(11/4・5)	→スポーツ少年団スポーツリーダー研修会の開催	・キッズパドミントン交流大会1/21、2/12)		・スポーツ少年団スポーツリーダー研修会の開催(3/11)	【スポーツ少年団】 ・概ね計画どおりに大会を実施したが、推進にあつての課題も多く残る。スポーツ少年団の組織のあり方、大会の再編成についてさらに踏み込んだ検討が必要である。						

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

〈評価基準〉  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12 体育・スポーツの振興	3 体育施設の整備充実	生涯学習														【体育施設修繕】 ・緊急度の高いものから順次実施した。	B		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場上流排水路改修工事</li> <li>【災害復旧】</li> <li>・温水プール</li> <li>・海洋センター</li> <li>・スポーツセンター</li> <li>・野球場</li> <li>・陸上競技場</li> <li>・武道館</li> <li>・庭球場</li> <li>・射撃場</li> </ul>															<ul style="list-style-type: none"> <li>【災害復旧工事関係】</li> <li>・年度内に計画した工事及び復旧工事を完了した。</li> <li>・地震とその後の台風により射撃場法面に亀裂が発生したため12月補正で予算措置を行った。現地調査・設計に時間を要したため工事費を繰越して対応する。</li> </ul>	B	B

〈評価基準〉  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

平成29年度 倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12	文化財の保存、活用、伝承	文化財	伝建地区の保存(修理・修景事業、保存計画の策定)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	伝建事業 ・平成28年度より継続地区内2/3の建造物が被災している。 【平成28年度繰越事業】 ・修理事物28件、修景物件3件終了。石垣2件 【平成29年度事業】 ・震災による設計士、工務店等の人手不足などにより事業の計画が思うように進捗しなかった。 ・解体を回避し保存できた物件が8棟ある。主屋と土蔵を保護するため付属屋2棟は解体せざるを得なかった。 ・倉吉町並み保存会の定例会を年間6回に変更し、よりこまめな復興対応が出来るようになった。 ・「打吹玉川だより」を年間5部発行することで地区内の変化を発信してわかりやすくした。 ・6回の事業変更申請を行いスムーズな事業の遂行ができた。 ・波波伎神社社叢の伐採も終え植生の更新を促すことができた。次年度以降鳥取大学の継続調査に繋がった。 ・小川氏庭園の修理を進めた。公開に向けた準備を協議していった。 ・倉吉淀屋の付属屋の遺構を確認し適切に復原した。 ・十一面観音立像の修理を行い江戸時代の作であることが分かり報告会も行った。 ・関金地区の文化財ウォークを行い多くの方が土木施設の文化財や仏像など様々な文化財に市民の方を案内することができた。 ・国分寺の不要木を伐採し景観が一新された。 ・松ヶ坪遺跡の調査では大御堂廃寺の遺物を数多く発掘し次年度の保存活用計画の資料とすることができた。 ・灘手地区で古代山陰道の支線が発見できその説明会を行うことができた。多数の見学者が参加した。 ・年間の事務手順の見直しを行い新たなサイクルを実施・検証し、次の計画を策定した。 ・小鴨川流域の古墳について報告会を開催した。(博物館事業)	B		
					平成28年度繰越修理事業 29棟+2件(石垣)	現状変更部会(第1回)	伝建審議会(第1回)	文化庁現地指導伝建事業講演会 修理見学会	現状変更部会(第2回)	伝建審議会(第2回) 建造物修理説明会	文化庁現地指導	現状変更部会(第3回)	伝建審議会(第3回) 建造物修理説明会	平成30年度第1回伝建修理説明会						
				伝建地区の保存(修理・修景事業、保存計画の策定)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
				伝建地区の保存(修理・修景事業、保存計画の策定)	平成28年度第2回伝建事業説明会	平成29年度第2回伝建事業説明会			平成29年度第3回伝建事業説明会		文化庁現地指導					平成30年度第1回伝建修理説明会				
				伝建地区の保存(修理・修景事業、保存計画の策定)	平成29年度修理事業開始 80棟程度	77棟+6棟+16棟			平成30年度修理事業募集開始											
				伝建地区の保存(修理・修景事業、保存計画の策定)		建築基準法緩和条例の見直し	保存計画の見直し							住まい職人の技in倉吉開催						
				指定文化財の整備と発信	小川家及び桑田家住宅・庭園修理事業			波波伎神社社叢 不要木伐採事業				文化庁現地指導								
				埋蔵文化財の調査	高田住宅・庭園修理事業	※旧牧田家住宅付属屋等修理事業2カ年事業2カ年目								桑田家住宅修理事業						
				埋蔵文化財の調査	指定文化財修理事業 永昌寺十三重塔修理他	滝川 十一面観音立像修理事業								鳥飼家住宅一般公開	もみじウォーク(関金)					
				埋蔵文化財の調査		木造地藏菩薩半跏像修理														
				埋蔵文化財の調査	各調査の事前協議、調査後開発側との協議									伯耆国分寺跡 不要木伐採事業						
				埋蔵文化財の調査	発掘調査															
				埋蔵文化財の調査	松ヶ坪遺跡第2次調査(個人住宅)	津原遺跡群(県道倉吉東伯線) ※繰越				津原遺跡群(県道倉吉東伯線)										
				埋蔵文化財の調査	試掘調査															
				埋蔵文化財の調査	下福田地区(講義棟新築)	駄経寺町2丁目地区(宅地販売事業)	東岩倉町地区(旧牧田家付属家屋等修理)	東岩倉町地区(旧牧田家付属家屋等修理)	大谷茶屋地区(個人住宅)	石塚・福山地区(国道313号倉吉関金道路)	石塚・福山地区(国道313号倉吉関金道路)									
				埋蔵文化財の調査	遺物整理作業	遺物洗浄、図面整理、写真整理等										報告書作成(各事業)				



〔評価基準〕  
 A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった(目標値の110%以上)  
 B・・・当初の目的・目標を達成した(目標値の90%以上110%未満)  
 C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった(目標値の60%以上90%未

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価														
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																		
13	親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供	博物館	・地震被災資料の点検と復旧	・博物館講座 ・地震被災資料の復旧 ・まちかど博物館(くら用心)	・博物館講座 ・まちかど博物館(くら用心)	・博物館講座 ・各部門、収蔵品展の開催準備	・博物館再開館各部門の収蔵品展 ・博物館講座 ・倉吉市美術展覧会審査会(23日) ・美術収蔵品展① ・歴史民俗資料館収蔵品展①	・倉吉市美術展覧会(8/29～9/25) ・博物館講座③(市展関連書道「想いを書く」) ・歴史民俗資料館収蔵品展②	・復興祈念展開催 ・博物館講座④(復興祈念展ギャラリーワーク) ・美術収蔵品展②・③	・博物館講座⑤(文化財ウォーク) ・博物館講座⑥(火山灰) ・考古収蔵品展②	・博物館講座⑦(長谷寺探訪) ・歴史民俗資料館収蔵品展③	・博物館講座⑧(小鴨川流域の古墳) ・美術収蔵品展④	・博物館講座⑨(生田和孝の陶業) ・美術収蔵品展④	・創作文華展(20～25) ・博物館講座⑩(創作文華展絵手紙体験) ・歴史民俗資料館収蔵品展④	A	B	B	当初計画は概ね予定どおり進行した。 ・休館中の館外展示や再開館後の復興祈念展の開催など、災害による休館で市民に迷惑をかけたがより多くの展示事業を行った。	概ね計画どおり進行した。	天候による外構工事の遅れや不測の亀裂など工期が延長したが概ね事業が進捗した。	・災害復旧工事による休館中、まちかど博物館として出張展示を行い、市民はじめ観光客にも気軽に立ち寄っていただき、倉吉文化に触れる機会を作り出すことが出来た。復興祈念展では、様々なジャンルの作品や資料を展示し、復興なかばの人々に感動を与えることができた。 ・平成30年度に第10回を迎える前田寛治大賞は、30人の作家指名を終え、来年度の開催を待つばかりとなった。 ・長年の懸案だった歴史民俗資料館の改修工事も無事終わることが出来た。											
			博物館	・前田寛治大賞推薦委員の選考他日程調整	・前田寛治大賞展指名作家の推薦		・前田寛治大賞展指名作家の選考会(東京)	・前田寛治大賞展指名作家への出品依頼		・前田寛治大賞展指名作家制作進捗の確認					・前田寛治大賞展指名作家制作進捗の確認	B																	
			博物館	・博物館災害復旧工事の業者選定 ・歴史民俗資料館の起業者選定	・博物館災害復旧工事の施工 ・歴史民俗資料館改修工事の施工	・博物館災害復旧工事の施工 ・歴史民俗資料館改修工事の施工	・博物館災害復旧工事の完成と検査 ・歴史民俗資料館改修工事の施工 ・文化財課事務室の改修	・博物館外構工事の施工 ・歴史民俗資料館の完成と検査	・博物館外構工事の施工と完成											B													
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	豊かな心を育む図書館づくりの推進	図書館資料の収集提供、レファレンスサービスの充実	図書館	・自閉症啓発展示 ・歌人永田和宏・河野裕子紹介展示 ・作家紹介：「西尾維新」	・子どもの読書週間「おとうさんお母さん学校の先生も読んだ本」 ・絵本：「さんぼ おでかけ」 ・児童：韓国を知ろう	鳥取県労働委員会事業PRパネル展 全国美術館めぐり 児童：雨・かえる	・関金温泉開湯1300年PR ・郷土：倉吉餅 ・絵本：たなばた ・児童：星	作家紹介：桜庭一樹	「星取県」郷土：鳥取県民の日 児童：運動会を楽しもう 季節：おやつのかん 作家紹介：米澤穂信	秋の催しに関する展示 鳥取県中部地震から1年選挙権18歳に引き下げ 心の健康と飲酒	心の病気啓発展示 河本緑石生誕120年	郷土の新春行事紹介 障がい者週間 維新前夜・人と作品	よく読まれた本の紹介 美術に会う 平昌オリンピックを楽しもう	冬の渡り鳥紹介 ルート313の向こう 神辺福山で待っています	新社会人新入生にお勧めの図書紹介 山上憶良短歌賞・短歌を味わおう	B	A	B	市の他部局、県、関連する民間団体、他県の図書館などと連携し、話題になっている事柄や時期を得たテーマの展示を実施し、読書への関心を高めた。10月には県公文書館と協力し鳥取県中部地震のパネル展示を実施した。			・ブックスタートは変わらぬ人気で、読み聞かせの普及に効果を挙げている。 ・市、県、関連団体、県外図書館などと連携をタイムリーな展示を実施した。 ・小学校と連携した絵本作家講演会は好評で、来年度以降も継続して実施することにより読書意欲の高揚や職業教育に役立てたい。 ・2回目の全国公募した短歌募集事業は目安となる大台を超え、また今年度も全国・海外の方に鳥取県中部地震からの復旧、倉吉の元気を喧伝することができた。											
			図書館	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 30人 1歳6ヶ月 29人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 30人 1歳6ヶ月 32人 工作教室(5/21)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 26人 1歳6ヶ月 30人 読み聞かせ連続講座(6/18)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 30人 1歳6ヶ月 26人 読書講座(7/16) 鳥取地方気象台「お天気広場」(7/22 150人) 気象の図書紹介 里山図書館で過ごそう(7/28)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 31人 1歳6ヶ月 34人 チャレンジ1日図書館員(8/8・9) 絵本に出てくるおやつを作ろう(8/9) 星座図鑑を作ってみよう(8/10)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 28人 1歳6ヶ月 32人 製本講座 読み聞かせ連続講座(9/17)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 23人 1歳6ヶ月 26人 絵本作家どいかや講演会(10/22) 灘手・上小鴨出張講演(10/23) ぬいぐるみのおとまりかい(10/28・29) 大人の図書館員体験(10/29)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 32人 1歳6ヶ月 36人 絵本ワールドinとっとりで絵本展示(11/18・19)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 17人 1歳6ヶ月 27人 ストーリーテリングを楽しむ会(12/17)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 33人 1歳6ヶ月 37人 本の福袋(1/6～8)	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 29人 1歳6ヶ月 22人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 27人 1歳6ヶ月 37人	入館者数：19,000人			入館者数：18,740人	入館者数：19,170人	入館者数：24,383人	入館者数：29,846人	入館者数：20,360人	入館者数：19,102人	入館者数：19,873人	入館者数：13,542人	入館者数：19,085人	入館者数：19,542人	入館者数：20,962人 総入館者数：243,605人	B			
			図書館	山上憶良短歌賞全国公募	山上憶良短歌賞実行委員会開催 実施要項決定(5/12) 広報媒体(ポスター・チラシ)作成・配布開始 市ホームページ等に掲載	広報媒体(チラシ)作成・配布開始(6/30) 市ホームページ等に掲載 全国結社に協力依頼 朗読ボランティア「やまびこ」による短歌指導 県歌人による小学生作歌指導	朗読ボランティア「やまびこ」による短歌指導	関連資料の館内展示・事業PR	朗読ボランティア「やまびこ」による短歌指導 大人のための作歌教室	山上憶良短歌賞作品受付 県歌人による小学生作歌指導(1校) 大人のための作歌教室(11/23・28) 短歌雑誌に広告掲載	山上憶良短歌賞作品受付 県歌人による小学生作歌指導(1校) 大人のための作歌教室(12/20)	山上憶良短歌賞第1次審査会(1/10) 審査通過作品 永田選者に送付	第2次審査(2/4) 第3次審査(2/16) 受賞作品決定 山上憶良短歌賞受賞作品集編集	山上憶良短歌賞受賞作品集納品 山上憶良短歌賞表彰式(3/24)	2回目の全国公募を行った山上憶良短歌賞は応募数が5,495首と昨年度を下回ったものの、5,000の大台を超えることができた。今回も国内は45都道府県、海外からも応募があり、倉吉と山上憶良の活躍を広く喧伝することができた。審査をはじめとする事務も昨年の反省をもとに工夫を加え、円滑に進めることができた。																		